

歴史遺産を祝す *Celebrating Heritage*

February 16, 2018

By Airman 1st Class Juan Torres
374th Airlift Wing Public Affairs

歴史遺産月間は、人々にさまざまな文化的アイデンティティーの複雑さと豊かさを認識する機会を与える。

アフリカ系アメリカ人歴史月間は、毎年2月に、米国史におけるアフリカ系アメリカ人の中心的役割を回想する年間行事である。

「アフリカ系アメリカ人が、他の少数民族を平等な市民にするための道を開いたと思う。さまざまな運動の先頭に立ったおかげで、今の私たちがいる」と第730航空機動中隊旅客サービス下士官監督官のデニス・バルデズ曹長は言う。



予定されたさまざまなイベントを通じて、バルデズ曹長は今年のテーマ「戦時中のアフリカ系アメリカ人」について、あらゆる年齢層を教育する。

「戦時中にアフリカ系アメリカ人が担った役割について、子供たちが学ぶ動機となるよう、学校で絵やエッセイのコンテストを行う準備をしている。また、スクール・エイジ・プログラムやユース・センターでセミナーを開き、タスキーギ・エアメンについて知識を得る機会を作っている」とバルデズ曹長は述べた。

タスキーギ・エアメンとは、第二次世界大戦で戦った黒人軍人のグループの通称である。

2000年に米空軍に入隊したバルデズ曹長は、タスキーギ・エアメンとの特別な縁を感じている。

「タスキーギ・エアメンのことを、とても誇りに思う。イラクで任務していた時、タスキーギ・エアメンによって編成された第332戦闘飛行大隊にいた。彼らは実に大きなレガシーを築いていた。仕事を行う上で、いつも彼らのレガシーを称えていたかのように感じていた」とバルデズ曹長は言った。

歴史遺産月間に参加することによって、人々は他の文化が長年に渡ってどのように形成されてきたかを理解し、異なる文化の背景を学ぶことができる。

「これらの月間が好きな理由は、アメリカ人が成し遂げてきた功績を称えるものだから」とバルデズ曹長は言葉を加えた。